



まちのできごと

1/29 若草保育所ひなまつり写真撮影 綺麗な着物で撮影会

若草保育所でひなまつりに先立ち、年長児のひなまつり写真撮影が行われました。着物を着る前までは元氣いっぱいの園児でしたが、いざ袖を通してカメラを目の前にすると緊張している様子で、職員の「笑って」という声に精いっぱいの笑顔を浮かべていました。撮影を終えた園児たちは「写真を早く見たい」と楽しみにしていました。



↑ 綺麗な着物に身を包み緊張気味の園児

2/1・2 こども冬まつり 光が夜を彩る

旭日公園でこども冬まつりが開催され、前夜祭、本祭とたくさんの来場者で賑わいました。前夜祭では、同日開催されたおうむキャンドルナイトに公園は幻想的な光景が広がり、恒例となっている花火の打ち上げでは写真を撮るなど来場者は楽しんでいました。この日、来町していた武雄市児童は「雪上の打ち上げ花火をはじめてみました」と嬉しそうに話してくれました。



↑ アイスキャンドルに囲まれて急撮影する町内児童と武雄市児童

↓ ブルームボール協会員と試合をする児童



2/10 学社融合事業 ブルームボール教室 冬の体力育成に

児童の冬場の体力育成を図る「学社融合ブルームボール教室」がメモリアル広場で行われ、この日は、雄武小6年生が参加しました。ブルームボール協会員から技術を教わりシュート練習などで基礎を学んだ後、3チームに分かれて試合を行いました。踏ん張りのきかない氷上に苦戦し転倒していましたが、声を掛け合い笑顔で氷上のスポーツに挑戦していました。

↓ 教わりながらバルーンアートに挑戦する児童



2/16 雄図ぴあ バルーンアートワークショップ バルーンで動物や花を

図書館「雄図ぴあ」でバルーンアートワークショップが開催されました。講師には町内在住の館明駒氏をお呼びして参加者とバルーンアートを作成しました。ワークショップでは、小さな児童でも簡単に作成できる動物から、ちょっと難しい花などの作品を90分という時間でしたが、たくさんの作品を作成していました。参加した児童は「家に持って帰ってまた作りたい」と初めてのバルーンアートに魅了されているようでした。

↓ 卒業生有志による沢木太鼓の披露



2/8 沢木小学校 開校 120 周年記念式典 受け継がれる伝統

沢木小学校で開校 120 周年記念式典が行われました。明治 33 年に沢木簡易教育所として開校し令和 2 年で 120 年を迎えた沢木小学校に卒業生・在校生、地域の人や歴代の教員などが集まり記念式典が行われました。

式のアトラクションでは卒業生有志による「沢木太鼓」が披露され、受け継がれる伝統の音が響きました。

また、開校 100 周年タイムカプセルが披露され、子ども時代の宝物や 20 年後の自分にあてた手紙などに卒業生からは懐かしむ声が聞こえました。

2/16 雄武町子ども育成会「冬季めだか塾」 協力しておもちつき

子ども育成会主催による冬季めだか塾「もちつき」が町民センターで行われました。もちつきでは、意外と重い杵に児童は苦戦しつつも、交代しながら協力してついていました。つきあがったもちは児童たちがあんこやきな粉、納豆などそれぞれ味付けしたものと、子ども育成会で用意された豚汁と一緒においしそうに食べていました。



↑ 重い杵に苦戦する児童

↓ 石井町長と握手をする武雄市児童



1/31~2 ようこそ雄武町へ

1 月 31 日から 3 日間の日程で、武雄市訪問団の児童 11 人、引率者 3 人が来町しました。沢木小学校で行われた交流会では、同小児童が歓迎の沢木太鼓を披露し、その後、雪遊びなどで交流を深めました。また、町民センターでは歓迎会が行われ、町長や町関係者から歓迎の言葉が贈られ、武雄市児童からは歌の披露が行われました。

武雄市児童は「天気が心配でしたが雄武町に来ることができてよかった」と嬉しそうな様子でした。